

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月27日

計画の名称	連続立体交差事業による都市交通の安全と円滑化（交通拠点連携集中支援）												
計画の期間	平成30年度～令和03年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	愛知県												
計画の目標	鉄道を連続的に立体交差化することにより、複数の踏切を同時に除却し、交通渋滞や踏切事故の解消による都市交通の安全と円滑化を図るものである。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,269	A	7,269	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	事業区間内の踏切遮断交通量（台時+人時/日）を27%解消する。 踏切遮断交通量（台時+人時/日）の解消率を算出する。 （踏切遮断交通量の解消率）=（解消された踏切遮断交通量）/（事業区間内の踏切遮断交通量）	H30 0%	R2 27%	R3 27%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	愛知県	直接	愛知県	-	-	名古屋鉄道名古屋本線等 連続立体交差事業(知立 駅付近)(A-1)	鉄道高架化 L=4.86km	知立市						3,697	1.3	-
	個別補助金へ移行																		
	A01-002	街路	一般	愛知県	直接	愛知県	-	-	東海旅客鉄道武豊線連続 立体交差事業(半田駅付 近)(A-2)	鉄道高架化 L=2.60km	半田市						489	1.6	-
	個別補助金へ移行																		
	A01-003	街路	一般	愛知県	直接	愛知県	-	-	布袋駅線(名古屋鉄道犬 山線鉄道高架事業)(A-3)	鉄道高架化 L=1.80km	江南市						3,083	1.2	-
	個別補助金へ移行																		
											小計						7,269		
											合計						7,269		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					